

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 新興国（フラジャイル 5）の明暗

1. 「フラジャイル（脆弱な）5」といわれていたブラジル、インド、インドネシア、トルコ、南アフリカ共和国の 5 カ国の明暗が分かれてきた。成長の軌道に乗せたインド。2016 年の経済成長率 7.6%と、中国を大幅に上回っている。原油安の恩恵を受けて、強まるインフレ（物価上昇）圧力を抑制できたのが大きい。今年に入ってから税の簡素化を目指した GST（物品サービス税）の導入も決めている。引き続き高い経済成長が期待できる。
2. インドネシアも原油輸入国として、原油安の恩恵を受けている国の一つ。貿易赤字が縮小。2016 年に入ってから 6 回も利下げを実施している。ただ、銀行の貸出残高の伸びは鈍化しており、好循環に入ったとはまだ言い切れない。ブラジルは 2014 年からマイナス成長を続け、今年もマイナスとなる見通しだ。テメル大統領は緊縮財政に着手しようとしている。一方で「最悪期は脱したが、政治リスクは払拭できていない」との見方も根強い。
3. 南アフリカとトルコは政治リスクを抱え、市場が乱高下しやすい。特にトルコはエルドアン大統領の強権政治を敬遠し、投資家からの直接投資が激減している。経常収支の赤字を、外からの投資でカバーできなくなっている。以上のように新興国は原油安と米国の利上げで、資本流出を起こしやすい。まして、政治リスクを抱えている南アフリカやトルコなどには十分な注意を払う必要がある。

(参考：「週刊ダイヤモンド」2016 年 11 月 26 日号)

### 経営者のための理念・哲学

#### 会社は創業家のものではない

1. 「カレーハウス C o C o 壱番屋」創業者の宗次徳二（68 歳）は、53 歳で経営から退いた。以来宗次の「仕事」は、私財を投じて音楽家の卵を支援することになった。28 億円をかけて名古屋の中心部にクラシックホールを造り、ほぼ毎日、コンサートを開く。年間約 8 万人が訪れるが、チケットは 1 枚数千円だから経営は厳しい。奨学金を含めれば、支出は年間数億円だ。「生きている間はやり続ける。お金は使い切ってもいい」。
2. 会社は自分のもの。起業のリスクを冒し、人生をかけて育てた会社に、そんな思いを抱く創業者は多い。だが、宗次は「その考え方が間違いのもと。株式公開したらなおさらだ。私の場合は、もう全力で悔いがないところまで走り切って、気が付いたら有能な人が後ろにいた。執着なく会社を譲れたのは、何もかもラッキーだった」と振り返る。

(参考：「日経ビジネス」：2016 年 11 月 14 日号)

### 経営者の危機管理

#### 「いつか来た道」要注意（建設業界）

1. 2017 年 3 月期。建設業界は上方修正ラッシュに湧く。スーパーゼネコン 4 社のうち大成建設は前期にたたき出した最高利益と同水準。大林組、清水建設、鹿島は最高益を更新する見通し。受注時の採算は、バブル期の水準に匹敵するところまで来ている。大手ゼネコンは五輪直前に完成する再開発案件やインフラ工事を複数抱えており、売り上げは 2018 年～2019 年まで膨らみ続ける見通しだ。
2. 一方、これまで業界全体が潤ってきた中で、二極化の兆しも見えてきた。準大手以下のゼネコンからは「一部の民間工事で受注競争が激しくなってきた」との声も上がる。長期的に見れば国内は人口減少などによる需要縮小が避けられない。海外に活路を求めた時期もあったが、今は国内に手いっぱい次の成長の基盤を築けていない。うたげが終わった後、「いつか来た道」をたどることにならないだろうか。

(参考：「週刊東洋経済」2016 年 11 月 26 日号)

## 古典に学ぶ

### 仁人は苦しみ困っている人を思いやる

(解説) サムライは、自分の荒々しい力とそれを利用する特権をもっていることを誇りとしていたけれども、孟子が愛の力について教えたところに、心から同意していた。孟子はいう、「仁の不仁に勝つはなお水の火に勝つがごとし、今の仁をなす者は、なお一杯の水をもって一車薪火を救うがごときなり」と。仁人はつねに苦しんで困っている人たちを思いやるのである。孟子は、倫理哲学を同情に基礎づけたアダム・スミスにはるかに先じて、それを主張していたのである。

(参考：佐藤全弘 (訳) 新渡戸稲造「武士道」：教文館)